

野生動物管理の学びを社会の共有財産に

当財団は専門家養成にとどまらず、野生動物管理に関心を抱く多くの方々に、学びの機会を提供していきます。

01

将来、野生動物管理を担う人々

02

現在、野生動物管理を担う人々

03

日常的に野生動物と関わりを持つ人々

04

野生動物や環境に関心を持つ人々

01

大学生、大学院生、留学生
知床ネイチャーキャンパス

02

社会人(現職者)
知床ネイチャーキャンパス・リカレント

03

地元住民、
地域産業従事者など

04

高校生・一般市民など
フォーラム・講演会・オンライン講座・
各種研修や研修旅行の受け入れ

当財団は知床での実習のご相談やコーディネートを受け付けております。
下記連絡先までお気軽にご連絡ください

知床自然大学院大学設立財団について

当財団は2013年に発足し、教育プログラムの提供や普及啓発事業を継続的に実施してきました。

主催したプログラムの一例



知床ネイチャーキャンパス

- 2016.10 野生動物との共存
- 2017.9 自然再生・自然復元
- 2018.9 地域産業と野生動物との共存
- 2019.9 知床の課題解決にチャレンジ
- 2021.3 生物多様性を守るために(オンライン)
- 2022.2 科学的保護管理システムの構築と実践(オンライン)



講演会・フォーラム・トークセッション

- 2013.5 知床に高等教育機関を作ろう!(斜里町)
- 2014.3 野生動物の「反乱」を食い止める(東京都)
- 2014.11 野生動物と共生する地域づくりを目指して(札幌市)
- 2015.3 地域資源を生かしたまちづくり・人づくり(斜里町)
- 2015.10 野生動物保護管理の最新潮流(東京都)
- 2021.9 知床で生きる、働く(オンライン)
- 知床ネイチャートーク(2017~20)を計12回実施(斜里町)

教育
プログラムの
提供

普及
啓発
事業

野生動物
管理教育

延べ**1,200人**以上
ご参加いただきました。

流動化するいまの時代にふさわしい野生動物管理教育のあり方を探求し、教育プログラムの提供や普及啓発事業を進めます。私たちが目指す人材養成の理念をご理解いただき、ご支援賜りますようお願いいたします。

公益財団法人
知床自然大学院大学設立財団

野生生物と共存する
社会の実現に向けて

知床で
ワイルドライフ
マネジャーの
養成を

私たちは野生動物管理の専門家、
すなわちワイルドライフマネジャーの養成を目指しています。

世界自然遺産・知床の経験と、科学的・文化的に多様な
「知」の蓄積を生かした新しい教育活動を展開していきます。

WILDLIFE

MANAGER

公益財団法人
知床自然大学院大学設立財団

〒099-4117 北海道斜里郡斜里町青葉町28番地10

sizendaigaku@wine.plala.or.jp

TEL: 0152-26-7770 FAX: 0152-26-7773

http://shiretoko-u.jp

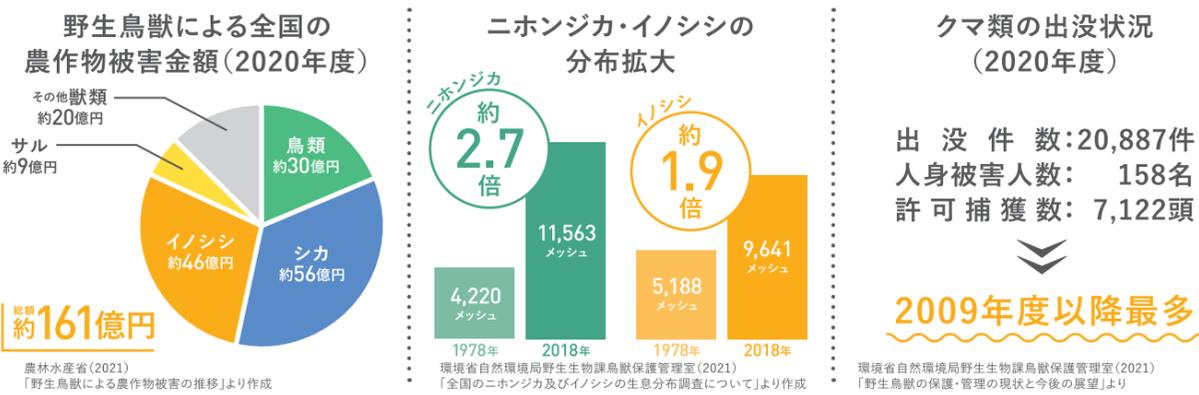


2022.05

ワイルドライフマネジャー養成が急務です

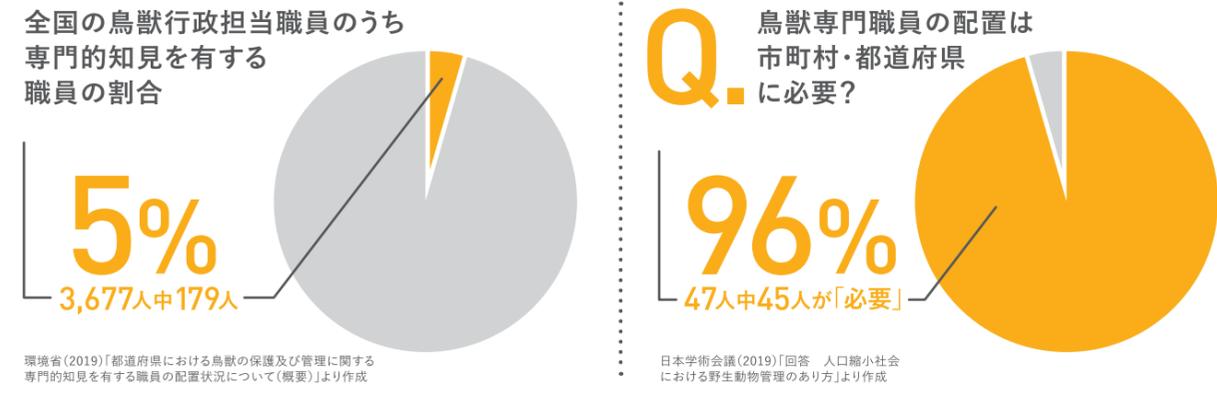
野生動物問題の現状

我が国の野生動物をめぐる状況は転換期にあると言われています。
農林水産業被害や生態系への悪影響など、野生動物による様々な問題が全国各地で発生しています。



野生動物管理の現場では

野生動物管理に携わる都道府県や市区町村の担当者は、十分な支援が得られない状況で孤軍奮闘しています。
多くの担当者が専門的知識・経験を持つ職員の配置を求めています。



ワイルドライフマネジャー養成の本格的始動

2019年、日本学術会議は野生動物管理専門員養成の必要性を提言しました。
翌2020年度には、国の組織と研究者からなる「野生動物管理教育プログラム検討会」が設置され、モデル・コア・カリキュラムの策定作業が始まるなど、国レベルでの専門家養成の検討が開始されました。



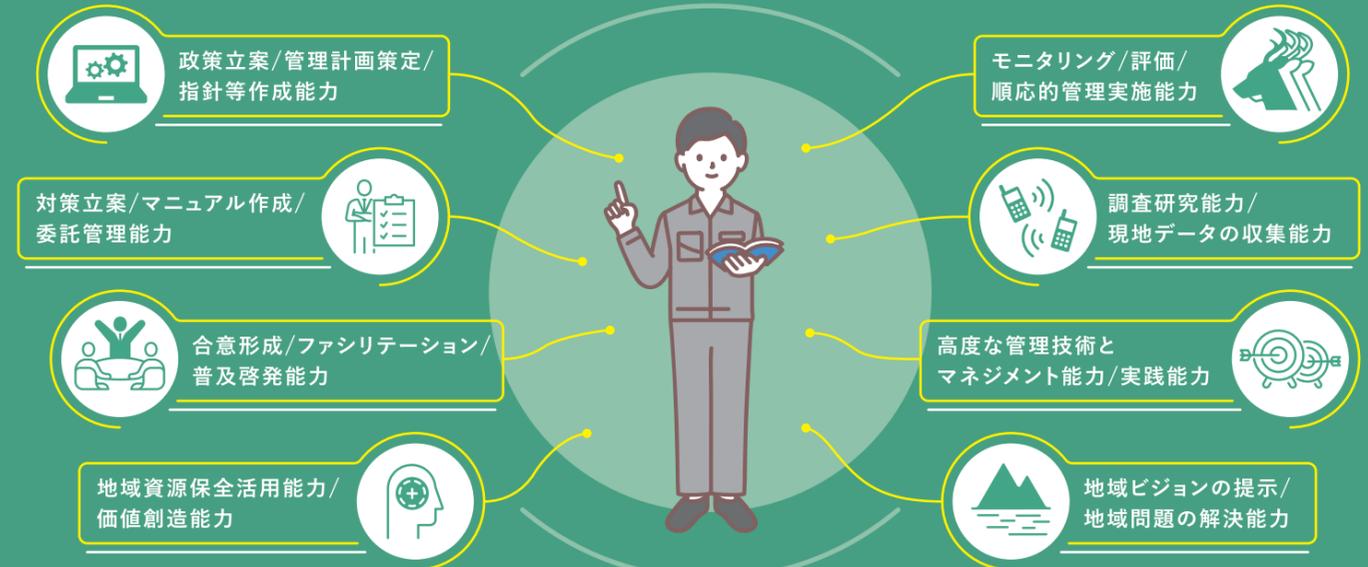
日本学術会議(2019)「回答 人口縮小社会における野生動物管理のあり方」(抜粋)

- ◆野生動物管理と地域社会の諸問題を総合的に捉えて、現場で解決するための科学的な計画立案、実践、モニタリングを担える人材(野生動物管理専門員)の養成が強く望まれる
- ◆国は、大学・大学院レベルの新たな専門教育課程と研究の場の創設を支援すべき

知床自然大学院大学設立財団が構想する専門家教育

ワイルドライフマネジャーに求められる能力

ワイルドライフマネジャーには、多岐にわたる実践的な能力が求められます。



知床自然大学院大学設立財団(2019)「保護管理専門職に求められる能力と役割」より作成

独自の教育プログラムの提供

当財団では、実践的能力を有する人材を養成するために、知床の教育資源を生かした独自のプログラムを開発・提供します。

- 学生と社会人(現職者)をそれぞれ対象としたプログラムを提供
- 野生動物管理の専門家からなる専門委員会の設置とプログラムの検討・評価の実施



知床の豊富な教育資源

世界自然遺産にも登録されている知床は、日本の自然保護を牽引し続けてきた地域です。
ワイルドライフマネジャーの養成に最適な教育資源やフィールドが豊富に存在しています。

- 多様性に富んだ自然、様々な自然保護地域
- 科学的知見をもとにした保護管理計画
- 蓄積された野生動物管理の経験
- 行政・研究者・地域が協働する仕組み
- 野生生物との共存に取り組む産業

